

令和5年4月15日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	緒方 弘治	黒田 裕希	吹奏楽指導者	月に1回程度
副顧問	井上 雅文	長澤 二郎	吹奏楽指導者	3月に1回程度
副顧問	高橋 志帆	肥田 尚子	吹奏楽指導者	3月に1回程度

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
自ら進んで行動するとともに、一人ではなく仲間とともに音楽をつくりあげるために、協調性を持ち、目標達成のために日々努力する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストでの金賞獲得を目指して日々の練習に取り組む。地区大会・中央大会・定期演奏会で良い演奏ができるように、日々の練習に励む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、社会福祉施設での演奏会や、地域で発表する機会があるときにはすすんで参加する。また、近隣の高等学校と合同練習を行い、交流を深めていく。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は週に5日間とし、練習時間は、平日2時間・休日3時間を基本とする。個人での基礎練習を主体に、パート練習や合奏を組み合わせ、適宜休憩を取りながら、モチベーションを高く持ちつつ楽しく活動している。
- (2) 練習や試合等の計画
外部指導者を招いて、楽器奏法の基本を学びながら、コンクールやアンサンブルコンテスト、地区大会・中央大会・バンドフェスティバルに積極的に参加する。近隣の学校と合同練習を行い、交流を深め、技術の向上を図る。年度末には、活動の総まとめの定期演奏会を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
吹奏楽は他者と合わせていくことが大切である。そのため、チームとして行動していく中で、協調性を重んずるとともに、責任感を養う。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
日ごろからこまめに生徒の意見を聞くとともに、できる限り顧問が練習に参加し、生徒と意思疎通を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
話し合いの時間を設ける。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員が指導方針についての共通理解を図り、指導を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	入学式 生徒部活動紹介
	5	
	6	100周年式典参加 バンドフェスティバル参加
	7	夏季合宿（山梨県河口湖）
	8	東京都高等学校吹奏楽コンクール
2 学期	9	白珠祭
	10	
	11	東京都高等学校文化祭音楽部門1地区大会
	12	TAMA アンサンブルフェスタ 都高吹連アンサンブルコンテスト 校内アンサンブル発表会
3 学期	1	東京都高等学校文化祭音楽部門中央大会
	2	
	3	卒業式 定期演奏会

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。